

# 東京都立両国高等学校 創立百十周年 記念式典

平成23年7月9日（土）晴天に恵まれた佳き日に東京都立両国高等学校 創立百十周年記念式典が江戸川区総合文化センター・大ホールにて盛大に挙行されました。高校並びに附属中学校の全生徒、先生方、淡交会の方々、保護者の方々、そして我々後援会合わせて総勢1,500名ほどが参加しました。

式典は管弦楽部の『記念演奏』（ベートーベン作曲 交響曲第5番「運命」より第4楽章）で厳かに幕が開けられ、第一部の『記念式典』、第二部の『記念講演』（京都大学霊長類研究所教授・所長・松沢哲郎氏「想像するちから」）と進められ、予定された3時間はあっという間に過ぎてしまいました。

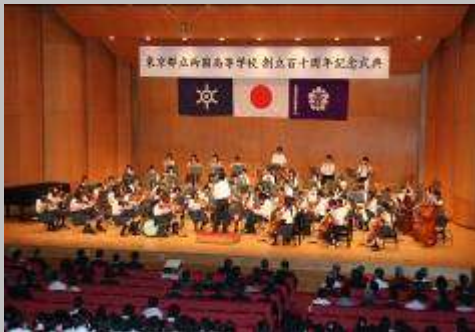
\*江戸川区総合文化センター\*



\*受付風景\*



\*管弦楽部演奏風景\*



\*会場風景\*



第一部では、多くの皆さまよりお話を賜りました。110年の歴史の重みを感じると共に、改めて両国の素晴らしさを実感しました。

\*大平校長先生の式辞\*



\*東京都教育委員会代表の挨拶\*



\*今井後援会会長の祝辞\*



\*郷 淡交会会長の祝辞\*



\*ご来賓の皆さま\*



\*生徒代表の言葉\*



\*両国文学賞の紹介\*



\*淡交会から両国高校への校旗贈呈\*



第二部は、本校の66回生・松沢先生による「想像するちから」と題した記念講演でした。先生のビデオを取り交ぜたプレゼンテーションは大変面白く、チンパンジーの研究結果から「想像するちから」を持つことが人間の所以なんだというテーマに分かり易く導いて下さいました。

\*松沢先生の講演\*



\*生徒からのお礼\*





## 記念式典のプログラムへ

後援会では昨年より「110周年記念事業委員会」を立上げ、先生方や淡交会との打合せ、会場側との交渉にあたって参りました。当日も多くのスタッフがサポートさせて頂いておりました。

\* 開式前の周年記念スタッフ \*



\* 受付ご苦労様です \*



\* お見送りご苦労様でした \*



\* 来賓控室にて \*



\* さあ後片付け \*



\* 祝賀会場へ移動します! \*

